

NO. 2 事業名 林道事業 [森林管理道開設事業 (国補)]

箇所・地区名 げんじろう
源次郎線

平成23年度 公共事業再評価調査

1. 再評価調査書

(区分) 国補・県単

事業名	林道事業〔森林管理道開設事業（国補）〕		事業箇所	甲州市勝沼町深沢～ 甲州市塩山牛奥		地区名	源次郎線		事業主体	山梨県 甲州市													
	当初計画	現計画	今回見直し予定	⑤再評価時の評価状況 (平成18年度再評価) 地質が想定以上に悪かったこと等から事業の進捗に遅れがみられるので、更なる工区増設やコスト縮減を図り、予定どおり平成27年度の完成に努められたい。																			
計画期間	H13～H27	—	H13～H29																				
総事業費	2,170百万円	—	—																				
(1) 事業の概要				(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																			
<p>①事業目的及び効果 本路線は甲州市（旧勝沼町）のほぼ中央に位置し、源次郎岳から宮宕山周辺の森林を適切に整備・管理することを目的とした森林管理道である。 利用区域内の森林はカラマツ、ヒノキ等の人工林が69%を占め、保育や間伐を必要とする人工林が多いことから、伐採搬出コストの削減、施業の効率化などとともに、森林整備による水源かん養、土砂流出防備機能等発揮にも貢献することが期待されている。 また、沿線にはヒノキ等の人工林を多く有する菱山財産区有林があり、本路線の開設を強く要望している。</p> <p>②事業概要 森林管理道 計画延長 7,200m（県5,700m、甲州市1,500m） 幅員 4.0m 利用区域面積 486ha 森林資源蓄積量 51,472m³</p> <p>③全体計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度まで</th> <th>平成23年度 (評価実施年度)</th> <th>平成24年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開設延長</td> <td>3,592m</td> <td>500m</td> <td>3,108m</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>807百万円</td> <td>86百万円</td> <td>1,277百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>④特記事項 この林道沿線では、山火事がたびたび発生している。最近では平成21年4月に大規模な山火事（91ha）が発生したが、本林道が消火活動に利用されるとともに、一部では防火帯として機能した。</p>					平成22年度まで	平成23年度 (評価実施年度)	平成24年度以降	開設延長	3,592m	500m	3,108m	事業費	807百万円	86百万円	1,277百万円	<p>①地域・住民の意向状況 林道源次郎線沿線の県有林及び財産区有林にはヒノキを主体とした人工林が多く、林業の生産性向上、さらに森林資源の高度利用と地域生産活動の活性化を図る必要があります。このため、県有林内で実施する開設工事を引き続き進めて頂くことを要望するとともに、財産区有林内については市営林道の開設及び作業道整備を推進していきたいと考えています。 (甲州市長より意見聴取)</p> <p>②産業・経済情勢 東日本大震災により、復旧、復興のため杭丸太など国産材の需要が高まっている。</p> <p>③国等の方針変更 ・森林・林業再生プラン 国は平成21年12月に「森林・林業再生プラン」を策定し、今後10年間で国産材自給率の目標を50%とし、森林施業の集約化、新たな林内路網の考え方に基づく路網の加速的整備により、効率的・安定的な森林経営の基盤づくりを進めることとしている。</p> <p>④上位計画・関連事業計画等の変更 ・富士川上流地域森林計画（平成19～28年度） ・第2次県有林管理計画（平成23～32年度） ・山梨県林道網整備計画（平成16～35年度）</p> <p>⑤自然環境条件等の変化 なし。</p> <p>⑥その他 なし。</p>							
	平成22年度まで	平成23年度 (評価実施年度)	平成24年度以降																				
開設延長	3,592m	500m	3,108m																				
事業費	807百万円	86百万円	1,277百万円																				
				(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																			
				<p>・事業採択時計画における事業全体B/C 便益(B)/費用(C) = 未算出</p> <p>・再評価時計画における事業全体B/C 便益(2,486百万円)/費用(1,960百万円) = 1.27 > 1.0 (平成18年度再評価)</p> <p>・再々評価時計画における事業全体B/C 便益(2,575百万円)/費用(2,268百万円) = 1.14 > 1.0 (平成23年度再々評価) (林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出 事業採択基準値1.00以上)</p>																			

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①計画変更等の概要 なし。</p> <p>②施工済みの事業内容 全体計画のとおり。</p> <p>③進捗率 (整備済計4,092m/全体7,200m)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18*</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>40</td> <td>47</td> <td>53</td> <td>60</td> <td>67</td> <td>73</td> <td>80</td> <td>87</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>28</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>50</td> <td>57</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>計画延長/総延長×100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>実施延長/総延長×100</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*再評価年度 (H23は見込み)</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 市施工区間が市の財政事情により平成20、21年度に事業を休止せざるを得なかった。また、県施工区間では、新工区(北進)での着工を計画していたが、甲州市からの財産区有林への早期到達要望を受け、施工中の工区(南進)での工事を進めたところ、景観に配慮するための法面保護工などのコスト増により、新工区での工事に着手できなかった。</p>		H18*	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	計画	40	47	53	60	67	73	80	87	93	実績	28	35	38	42	50	57					H27					算出方法	計画	100					計画延長/総延長×100	実績						実施延長/総延長×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 なし。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み 市の財政事情が厳しい状況にあることや県施工の新工区(北進)では来年度からの工事着手となることを踏まえ事業計画を再検討したところ、当初予定である平成27年度の完成は難しい状況であることから、事業期間を2年延長し、平成29年度の完成を目指す。 甲州市：平成29年度までの事業費を確保できる見込み。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性 なし。</p>
	H18*	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26																																											
計画	40	47	53	60	67	73	80	87	93																																											
実績	28	35	38	42	50	57																																														
	H27					算出方法																																														
計画	100					計画延長/総延長×100																																														
実績						実施延長/総延長×100																																														
(5) 評価項目 [コスト縮減の可能性]																																																				
<p>地形に沿った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡及び法面保護工の見直し、路側構造物等を縮小し、総合的なコスト縮減に努める。</p>																																																				
(6) 評価項目 [代替案立案の可能性]																																																				
<p>なし。</p>																																																				
(7) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()																																																				
<p>森林の適正管理や林業経営に利用され、周辺地域の活性化に必要な路線であるため、計画期間を2年間延長し、継続する。</p>																																																				

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



計画地遠景

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



景観に配慮した既設モルタルへの着色



要整備森林の状況

3. 添付資料シート(3)

□現況等写真



既設林道状況



菱山小学校児童による山火事跡地の植林